

ヒト・パピローマウイルスワクチン

CDCが「ヒト・パピローマウイルスワクチンの2回接種スケジュール：米国予防接種諮問委員会の最新勧告」[\[https://www.cdc.gov/mmwr/volumes/65/wr/pdfs/mm6549a5.pdf\]](https://www.cdc.gov/mmwr/volumes/65/wr/pdfs/mm6549a5.pdf) を公開したので重要ポイントを解説する。

【背景】

ヒト・パピローマウイルス（HPV）感染症は女性では子宮頸部、腔、外陰部のがん、男性では陰茎がん、男女ともに口腔咽頭および肛門がんと性器疣贅を引き起こしている。米国では3種類のHPVワクチンが認可されており、4価および9価ワクチン（ガーダシルおよびガーダシル9）が9～26歳の男女に、2価ワクチン（サーバリックス）が9～25歳の女性に使用することができる。2016年末現在、米国では9価ワクチンのみが配給されている。HPV関連がんのほとんどが、3種類のワクチンがターゲットとしているHPV16および18型によって引き起こされている。さらに、4価ワクチンはHPV6および11型をターゲットにしている（これらの型は性器疣贅を引き起こしている）。9価ワクチンはさらに5つの型（31、33、45、52、58型）もターゲットにしている。これらのワクチンは3回接種（0、1または2、6ヵ月）が認可されているが、2016年10月、米国食品医薬品局（FDA）は9～14歳の男女に9価ワクチンの2回接種を認可した。米国予防接種諮問委員会（ACIP）も、この年齢枠で接種を開始した青年には2回接種を推奨している。

【推奨】

• ACIPは11～12歳でHPVワクチンを接種することを推奨する（ワクチンは9歳から始めることができる）。過去に十分に接種していない場合、女性では26歳まで、男性では21歳までに接種することを推奨する。ただし、22～26歳の男性も接種して

構わない。

- 15歳の誕生日以前に接種を開始した人での推奨スケジュールは2回接種である。この場合、2回目は初回の6～12ヵ月後に接種する（0、6～12ヵ月）。15歳の誕生日以後に接種を開始した人での推奨スケジュールは3回接種である。この場合、初回接種の1～2ヵ月後に2回目を接種し、初回の6ヵ月後に3回目を接種する（0、1～2、6ヵ月）。
- 9価、4価、2価ワクチンを15歳の誕生日前に接種開始し、2回目を推奨スケジュール（0、6～12ヵ月）で接種するか、もしくは3回目を推奨スケジュール（0、1～2、6ヵ月）で接種した人は十分に接種していると考えられる。9価、4価、2価ワクチンを15歳の誕生日以後に開始し、3回目を推奨スケジュール（0、1～2、6ヵ月）で接種した人も十分に接種していると考えられる。
- 4価もしくは2価ワクチンで開始した接種スケジュールを継続もしくは完了するために9価ワクチンを使用してもよい。4価もしくは2価ワクチンで十分に接種した人に、9価ワクチンによる追加接種が必要かどうかについての勧告はない。
- 移植、HIV感染、免疫抑制剤などによる原発性もしくは二次性免疫不全の9～26歳の男女には3回接種（0、1～2、6ヵ月）を推奨する。
- 接種スケジュールが中断された場合、接種を最初から開始する必要はない。推奨される接種回数は最初の接種をした年齢に基づく。
- 10年間のフォローアップの臨床研究によると、HPVワクチンの3回接種後に予防効果が減弱とするエビデンスはない。また、2回接種と3回接種での抗体の血中動態が近似しているため、**2回接種後の予防効果も長期である**ことが推測される。

矢野邦夫

浜松医療センター 副院長
兼 感染症内科長
「ねころんで読める CDC ガイドライン（メディカ出版）」シリーズ等、CDC関連の編訳書多数。

今月の矢野編集長

井伊直虎ゆかりのお寺である龍潭寺（りょうたんじ）に行った。この寺は庭園で有名だ！大河ドラマの影響で、とてもにぎわっていた！



龍潭寺の庭園